

平成 31 年度（令和元年度）
沖縄振興特別推進交付金

中南部都市圏駐留軍用地跡地利用 及び周辺整備検討調査業務委託

報 告 書(概要版) (2/2)

西海岸地域(北谷町、宜野湾市、浦添市)の一体的な開発整備に向けた検討

令和2年3月

沖 縄 県

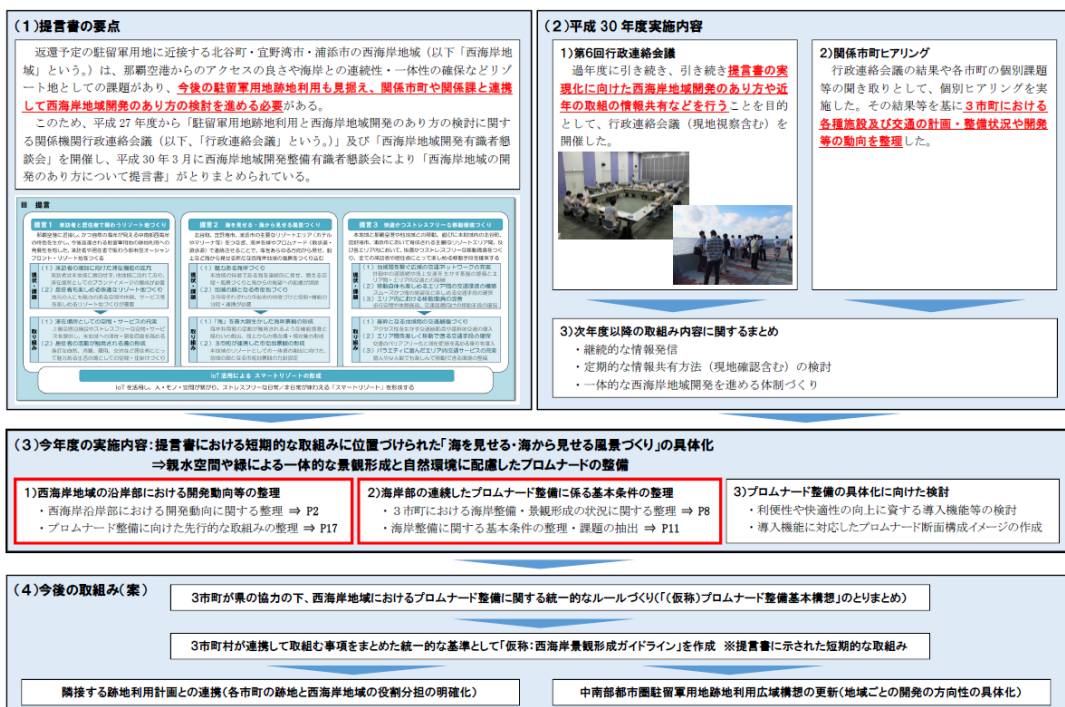
1. 目的

本調査では、西海岸地域のあり方について、西海岸地域開発整備有識者懇談会からの提言の実現に向けて開催する関係機関行政連絡会議に必要な情報収集を行うこと、今後の行政連絡会議のあり方について検討を行うこと、また、都市型オーシャンフロント・リゾート地の実現に向けた海岸部の連続したプロムナード整備の具体化に向けた検討を行うことを目的とする。

2. 関係機関行政連絡会議の運営支援（個別ヒアリングの実施）

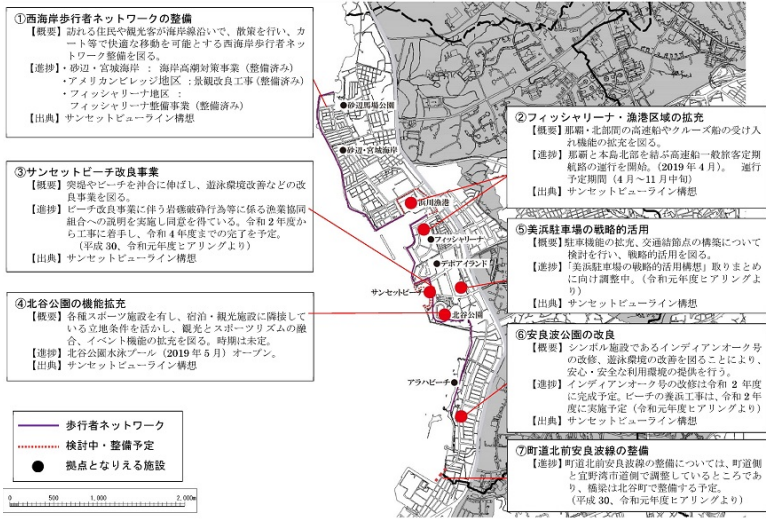
西海岸地域の一体的な開発整備に向けた関係市町の課題や抱える悩みを個別に聴き取ることを目的とし、関係市町へのヒアリングを実施した。

	内 容	
開催期間	令和元年9月12日～12月26日にかけて関係部局及び市町へ個別ヒアリングを実施	
ヒアリング先	沖繩県	土木建築部 海岸防災課 土木建築部 都市計画・モノレール課 景観形成班
	市町	北谷町 総務部 企画財政課 宜野湾市 企画部 企画政策課 浦添市 企画部 西海岸開発課
ヒアリング項目	<p>1. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の担当者会議及び関係市町村ヒアリング結果の報告 <p>2. 確認事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)「海岸整備現状及び周辺の土地利用の現状」の確認 (2)「プロムナード整備に向けた課題」の確認 (3)「各市町の開発動向」の確認 <p>3. 意見交換（議論）事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)プロムナード整備に向けた課題や抱える悩みについて意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある海岸を創出するためには、どのような空間構成・機能を持ったプロムナードを連続させる必要があるか ・実現可能性の高いルート及び起終点の箇所、拠点となる候補地はどこか ・プロムナード整備における課題と課題解決に必要な取組・連携とは ・その他（提案や確認事項等） (2)西海岸地域の一体的な開発に向けたルールづくりについて意見交換 	

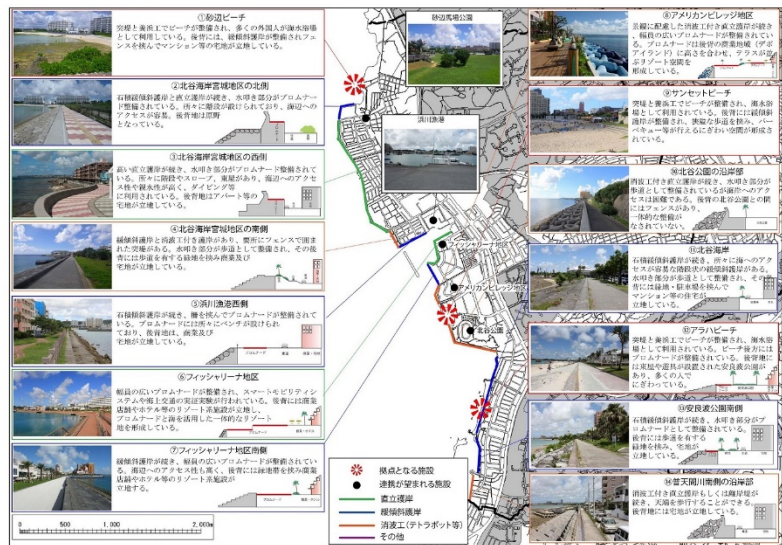


3. プロムナード整備の具体化に向けた検討

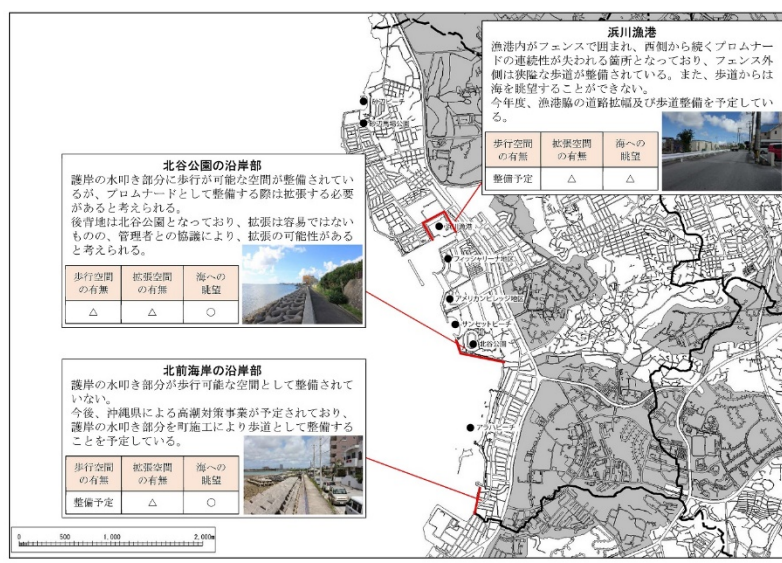
3市町にまたがるプロムナード整備に向け、現状把握のため既存資料及び個別ヒアリング等によって3市町における各種施設の計画・整備状況や開発動向・先行的な取組みや海岸整備・海岸景観及び関連する法規制等の状況把握について整理し、プロムナード整備に向けた課題を抽出し、整備の具体化に向けた検討を行った。



各市町の開発動向（北谷町の例）



海岸整備及び周辺土地利用の現況（北谷町の例）



プロムナード整備に向けた課題（北谷町の例）

提言1 来訪者と居住者で賑わうリゾート地づくり

○居住者の活動が触発される場の形成

リゾート地としての環境づくりにあたっては、**来訪者だけでなく、居住者の活動も触発される**ことが重要である。

また、本地域には豊かな海や歴史・文化資源が点在する一方、産業・流通関連施設や供給処理インフラ施設なども混在している。これらの施設についても新たな地域の特徴として位置づけ、**地域産業などの特色を生かした観光を推進**することも考えられる。

提言2 海を見せる・海から見せる風景づくり

○「海」を最大限生かした海岸景観の形成

海岸部においては、**エリア同士がつながり「海」を連続して見る**ことができるよう、親水空間や緑による一体的な景観形成と自然環境に配慮したプロムナード（散歩道・遊歩道）や緑陰などが心地よい休憩施設等の整備により、「青い空・海」、「白い雲」、「濃い緑」の色のコントラストが特徴的な沖縄らしい風景を活かしたリゾート地としての連続性確保を図ることが重要である。

提言3 快適かつストレスフリーな移動環境づくり

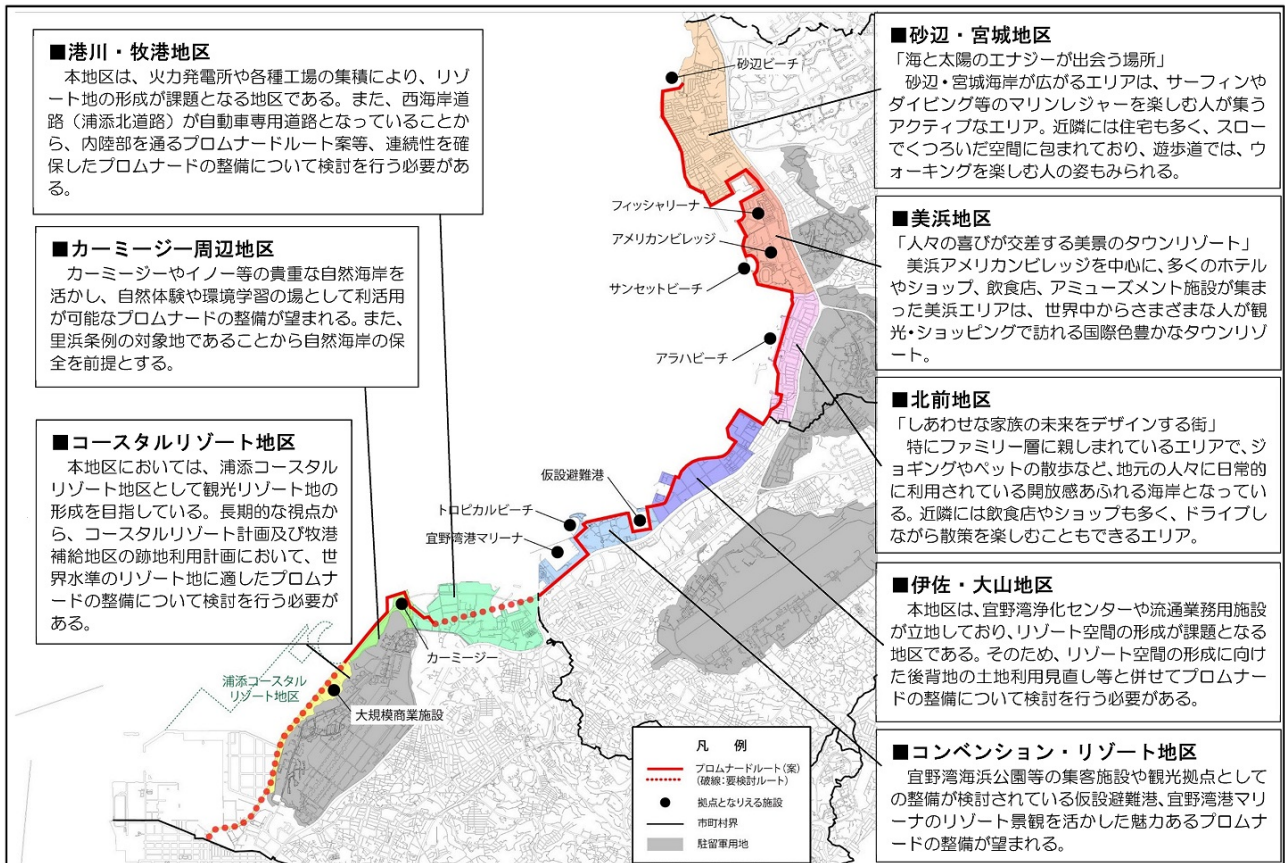
○バラエティに富んだエリア内交通サービスの充実

エリア内においては、海岸沿いのプロムナード等の整備により**歩行者・自転車なども楽しんで移動できる環境を確保**することが必要である。

また、適切な機能誘導やIoT活用により**ストレスフリーな移動手段の確保**に留意しながら、個人や少人数でも気軽に移動できる小型のモビリティとして、**カート、サイクルバーなど、リゾート地としてバラエティに富んだ交通サービス**も考えられる。

【プロムナード全体のコンセプト（案）】

- ①「海」を連続して見せるプロムナード
- ②拠点を結び、リゾート地としての連続性を演出するプロムナード
- ③ストレスフリーな移動空間としてのプロムナード
- ④親水性が高く、海の利活用を考慮したプロムナード
- ⑤後背地の土地利用と調和し、賑わいや憩いを創出するプロムナード



4. 今後の行政連絡会議のあり方検討

今年度実施した個別ヒアリング及び3市町の現地調査等の結果を踏まえた今後の「提言書」の実現化に向けた推進上の課題や駐留軍用地跡地との連携、行政連絡会議のあり方を整理した。

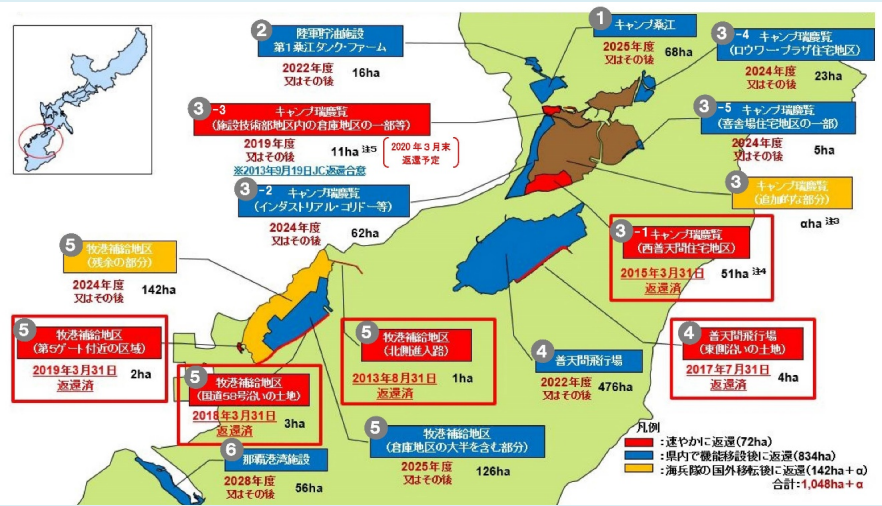
【個別ヒアリング等を踏まえた提言実現化に向けた推進上の課題】

- ①市町の開発熟度の差を踏まえたテーマ設定
- ②西海岸地域開発を進めるための体制構築
- ③県及び関係市町による情報共有の継続

【駐留軍用地跡地との連携】

西海岸地域開発整備有識者懇談会からの提言(平成 30 年3月)では、返還時期が示された嘉手納飛行場より南の駐留軍用地の跡地利用は、県土構造の再編につながるものであり、**西海岸地域と相互に連携しながら、機能配置、景観形成、移動環境づくりを進めることが望まれる**としている。

駐留軍用地の跡地利用と西海岸地域が連携することで相乗効果を発揮すると考えられるため、中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想や各駐留軍用地の跡地利用計画との整合を図り、相乗効果を最大限に発揮する連携のあり方について検討を行う必要がある。



【行政連絡会議のあり方の検討】

行政連絡会議は、県及び西海岸地域の関係市町より構成される。本会議は、「西海岸地域の開発のあり方について提言書」の検討に際し設置され、提言書の実現化に向けた**西海岸地域開発のあり方や近年の取組みの情報共有などを行うことを目的**として、これまで6回開催されている。

前項の課題解決の手段として、**行政連絡会議の活用**が考えられる。

具体的には、県内部における情報共有の組織体制構築を推進し、関係する市町との意見交換すべきテーマ設定が整った段階で開催する。

特に、西海岸地域と基地跡地が隣接する浦添市においては、牧港補給地区跡地利用及び西海岸開発計画第2ステージの具体化検討を連動させた検討が望まれることから各事業のスケジュールや計画内容の整合等について、他市町における取組み状況等を交え議論を行うことが考えられる。